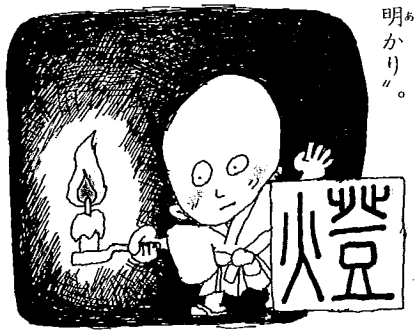
灯

【4年】

6画

おん トウ

くん ひ



なりたち 旧字体は燈。登の意味の丁と、火との形声字。燈は、登と火との会意形声字で、燈台(だい)に〝火をともす〟ことを表した字。〝ともし火・明かり〟。

いみとじゅくご

▼火。ともし火。

灯火…ともし火。明かり。

用例 灯火親しむべき候。(夜の長い秋の季節は読書に最も適した時だという意味。)

灯台…❶港の入り口や岬などに設け、夜は明かりをともし、船の安全を守る設備。❷昔の照明器具。用例 灯台下暗し。

灯明…神仏に供える明かり。

灯籠(ろう)…石や金属などで作った照明用具。中に灯火を入れる。例 石灯籠

街灯…街路を照らすため、道端に柱を立てて設けた明かり。街路灯。

▼世を照らす明かり。仏法。

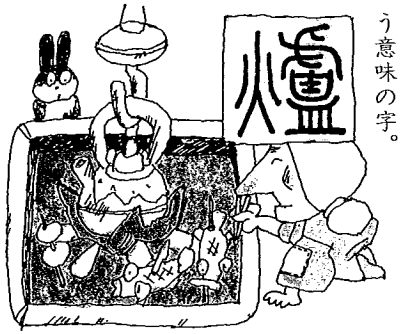
法灯…❶この世の闇(みや)を照らす仏法。❷仏前の灯明。

よみかた 献灯・幻灯・消灯・常夜灯・点灯・電灯・門灯

炉

8画

おん ロ



なりたち 旧字体は爐。飯を入れる器の盧と、火との会意形声字。火を入れて燃やす所〝いろり〟を表した字。炉は家の意味の戸と火との会意字。家の中の火を燃やす所、という意味の字。

いみとじゅくご

▼囲炉裏。火を入れて燃やしておく所。

暖炉…火をたいて部屋を暖める炉。

懐炉…服の中(=懐)に入れ体を暖める道具。

香炉…香をたく容器。

囲炉裏…部屋の床を四角に切って火をたき、体を暖めたり煮炊きをするようにこしらえた所。

炉辺…囲炉裏のそば。炉端。

用例 炉辺を囲む。

風炉…茶の湯で、畳の上に置いて、釜をかける火鉢のような道具。

溶鉱炉…鉱石を加熱して溶かし、銑鉄などを取る炉。

夏炉冬扇…夏の火鉢と、冬の扇。時節に合わないで役に立たないという意味。

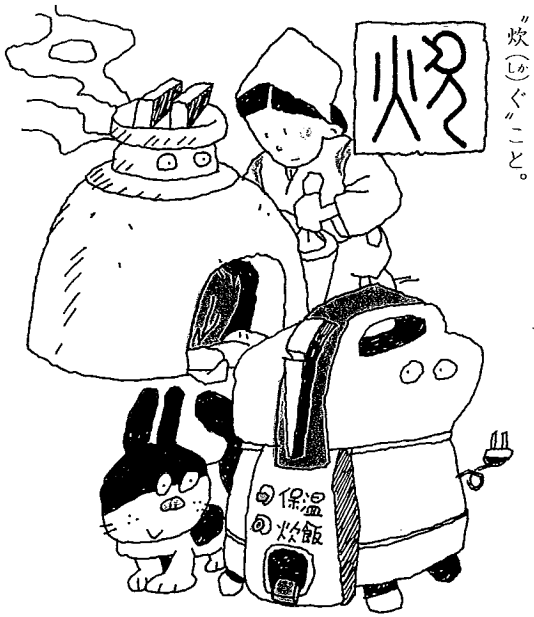
よみかた 原子炉

炊

8画

おん スイ

くん たく



なりたち 吹の意味の欠と、火との会意形声字。火を吹いて〝飯を炊く〟ことを表した字。〝炊(しか)ぐ〟こと。

いみとじゅくご

▼飯を炊く。

炊事…食べ物を煮炊きすること。例 炊事洗濯

炊飯…飯を炊くこと。例 炊飯器

炊煙…炊事の煙。

自炊…自分で食事を作ること。

雑炊…野菜などを炊き込んだかゆ。おじや。

吹

7画

おん スイ

くん ふく

なりたち 口を大きく開いた形を表した欠と、口との会意字。息を口から〝吹き出す〟ことを表した字。息を吹き出して〝笛を吹く〟こと。また、〝風が吹く〟こと。

いみとじゅくご

▼吹く。息を吹く。風が吹く。

火吹き竹…口で吹いて火を起こす、竹でできた道具。

吹き流し…数本の細長い布を輪につけ、それをさおの先に付けて風になびかせる物。

▼管楽器を吹き鳴らす。

吹奏…管楽器を吹いて演奏すること。例 吹奏楽

鼓吹…❶鼓を打ち、笛を吹くこと。❷意見や考えを盛んに主張し、相手を同調させようとすること。用例 軍国主義思想を鼓吹する。

よみかた

吹鳴・芽吹き

さんこう 特別なよみかた→吹雪・息吹